

平成 17 年 5 月 25 日

観光みらいプロジェクトについて

I 『観光みらいプロジェクト』取組の背景・目的

平成 16 年 11 月 30 日にまとめられた観光立国推進戦略会議報告書の「国際競争力のある観光地づくりに意欲を燃やす主体による観光地づくりの構想策定に対して国が支援すること」との提言を受けて、国土交通省では「観光みらいプロジェクト」に取り組むこととした。

「観光みらいプロジェクト」とは、斬新かつ先進的で地域の創意・工夫が生かされた優れた観光地づくりの提案を選定し、策定主体による構想策定のためのデータ収集、市場調査、原案策定作業等を支援するとともに、これら構想について広く全国に情報発信することを通じて、「国際競争力のある観光地づくり」を目指す地域の模範として全国に波及させるとともに、創意・工夫を生かした観光地づくりに関する競争を全国で活発化させることを目的としている。

II 『観光みらいプロジェクト』への応募状況

本年 1 月から 3 月にかけて「国際競争力のある観光地づくり」に向けた構想の提案を募集したところ、全国各地から 126 件の提案があった。

その概要は次のとおり。

タイプ別に見ると、「泊食分離」等仕組み・仕掛けに工夫タイプが 27 件（21%）、コンテンツの充実等プログラムに工夫タイプが 53 件（42%）、人材育成・連携等ネットワークに工夫タイプが 19 件（15%）、革新的な観光地モデル形成等コンセプトに工夫タイプが 27 件（21%）

地域別に見ると、もっとも多いのが北陸信越地域 24（19%）、次いで東北地域 23（18%）、関東 18（14%）、九州 14（11%）、近畿 13（10%）、北海道 9（7%）、四国 9（7%）、中国 8（6%）、中部 5（4%）、沖縄 3（2%）

提案者別に見ると、もっとも多いのが市町村・地元観光関係者等で構成する協議会等 50（40%）、2 位が NPO 法人 22（18%）、自治体 21（17%）、観光協会 14（11%）、商工会議所 6（5%）、その他（大学など）13（10%）

Ⅲ 「観光みらいプロジェクト」の選定について

全国から応募のあった126件の提案の中から、観光立国推進戦略会議報告書で提案されている4つの各タイプについて、この報告書の趣旨に最もふさわしい代表的な提案に絞って、5つのプロジェクトを選定した。

1. 選定された提案一覧

「泊食分離」等仕組み・仕掛けに工夫タイプ

志摩から始まる楽しい家族の旅文化

(志摩市) **家族仕様・泊食分離モデル**

「長崎方式」受け地主導型ツアー実践ビジネスモデル

構築事業(長崎県) **交泊分離・受け地主導モデル**

コンテンツの充実等プログラムに工夫タイプ

「いちゃりば感動プロジェクト」(沖縄県) **コンテンツ充実モデル**

人材育成・連携等ネットワークに工夫タイプ

「テーマ型広域観光モデルルート開発」

& 「テーマ性のある観光地づくり」(九州全域) **広域連携モデル**

革新的な観光地モデル形成等コンセプトに工夫タイプ

函館移住コンシェルジュ事業(函館市) **移住促進モデル**

2. 選定された提案の概要

(1) 志摩からはじまる楽しい家族の旅文化

〔概要〕対象地域：志摩市、実施主体：地元観光団体、農漁協、商工会等で構成する協議会

- ・長期滞在を可能にする「家族仕様」の観光交流空間づくりを推進するため、泊食分離を基本とした「家族」仕様の長期滞在プログラムの開発及びこれを支える新しい仕組みとして「(仮)志摩観光振興ファンド」の創設を目指す。

〔特徴〕

- ・1週間以上家族で楽しめる家族仕様の長期滞在プログラムの開発（志摩湾の歴史・養殖産業、集落・伝統文化を活かした体験・交流型滞在プログラム等）。
- ・(仮)志摩観光振興ファンド創設による真珠の湾、無人島、漁師小屋等の地域資源の保全・活用、真珠・海産資源、農業資源のブランド開発に活用。
- ・家族仕様宿泊施設実証モデルプランの開発。
- ・家族向け旅情報の発信（ポータルサイト開発）。

(2) 「長崎方式」受け地主導型ツアー実践ビジネスモデル構築事業

〔概要〕対象地域：長崎県全域、実施主体：長崎県観光連盟

- ・ガイド付きこだわりコンテンツを組んだ、交泊分離・受け地主導型の地域「イチ押し」ツアーの開発・商品造成（長崎軍艦島・炭坑・造船所等の産業観光・歴史歩きコース、雲仙薬膳・湧水・三湯物語コース、佐世保グルメ食べ歩きコース、五島隠れキリシタンコース、対馬エココース等）、インターネットを活用した観光コース直前一括予約・手配サイトの構築を目指す。

〔特徴〕

- ・長崎県観光連盟に、直前予約を可能とする観光コース一括手配窓口の創設。
- ・地域独自のガイドサービスを少人数単位の旅行者にも提供。

(3) 「いちゃりば感動プロジェクト」(沖縄県)

〔概要〕対象地域：沖縄県全域、実施主体：地元自治体、観光団体等で構成する協議会

- ・沖縄独特の自然、文化を生かした滞在型観光コンテンツ 100 を開発、ネット上で掲載するとともに、観光客が自由にこれらの観光コンテンツを選択することで、オーダーメイドの観光ツアーを提供する仕組みの開発を目指す。

〔特徴〕

- ・沖縄地域全体の観光資源を網羅するとともに、多様なニーズに対応できる魅力的な滞在型観光コンテンツ 100 の開発。
- ・ITを活用し、観光客オーダーメイドのプログラムを提供する仕組みの開発。

(4) 「テーマ型広域観光モデルルート開発」 & 「テーマ性のある観光地づくり」

〔概要〕対象地域：九州全域、実施主体：九州観光推進機構

- ・本年4月に九州の官民共同で立ち上げた九州観光推進機構が中心となって、九州全域で団塊の世代等のシニア層をターゲットとした”知的欲求を満たす旅”をコンセプトとした県境を超えた地域横断的な50の広域観光テーマ・ルート開発を目指す。

〔特徴〕

- ・本年4月に九州の官民共同で立ち上げた九州観光推進機構が実施主体。
- ・団塊の世代等のシニア層へのターゲットの絞り込み、観光ルート・商品の開発。
- ・地域の歴史的・文化的資源を活用した50の広域観光ルートの開発。
- ・九州各県の連携による、開発した観光ルート・商品を活用したアジア諸国等への誘客プロモーションの展開を予定。

(5) 函館移住コンシェルジュ事業

〔概要〕対象地域：函館市を中心とする南北海道、実施主体：はこだて生活産業創出研究会

- ・これから退職を迎える団塊の世代等の移住希望者をターゲットに、郷土料理教室などの生活体験型観光プログラムの構築、移住視察ツアーの実施、移住相談事業など移住に関するトータル・サポート・サービスの提供・サポート体制の構築を目指す。

〔特徴〕

- ・移住に関するトータル・サポート・サービスを実施するため、地元財界等の出資による株式会社「函館移住コンシェルジュセンター」の設立を目指す。

V 今後の進め方

今般、選定した提案については、策定主体による構想策定のためのデータ収集、市場調査、原案策定作業等を支援するとともに、これら構想について広く全国に情報発信し「国際競争力のある観光地づくり」を目指す地域の模範として全国に波及させるとともに、各地域の創意・工夫を生かした観光地づくりの活発化を目指す。

熟度等の関係で今回選定されなかった提案についても、国土交通省としては、地方運輸局等を通じて必要な助言等を行い、今般選定された構想等を参考に、各地域において一層の創意・工夫や提案内容の具体化、熟度の向上の努力の支援を行なうこととし、各地域の自主的な観光地づくりの支援や6月以降に予定している次回の提案募集につなげていくこととする。

「志摩からはじまる楽しい家族の旅文化」

提案主体：志摩観光地域づくり推進会議 対象地：三重県志摩市

「泊食分離」等仕組み・仕掛に工夫タイプ（家族仕様・泊食分離モデル）

面的観光地づくりのための地域住民や
観光事業者・地域企業の取組み不足
自然景観、産業・歴史遺産の保全・
再生・活用不足

新しい観光交流空間づくりにより地域観
光を再生・活性化
他地域の目標となる情報やモデルを提供

1週間以上家族で楽しめる家族仕様の長期滞在プログラムの開発 (仮)志摩観光振興ファンド創設、家族仕様宿泊施設実証モデルプラン開発

地域資源を活用した受け皿づくり、自然環境や文化・産業資源を活用した広域連携

「家族仕様」の新しい観光交流空間づくり

- 泊食分離型施設の整備（宿泊施設、企業の保養施設、学校の活用）、
廉価メニュー（連泊割引等）の普及
- 滞在プログラムの開発
（キャンプ、マリンスポーツ等）
- ポータルサイト開発



マリンレジャー

キャンプ

観光資源の充実

- 志摩ブランドの開発
（伊勢エビ、真珠、景観等）
- 地域資源保全・活用
（漁師・海女・真珠小屋の保全等）



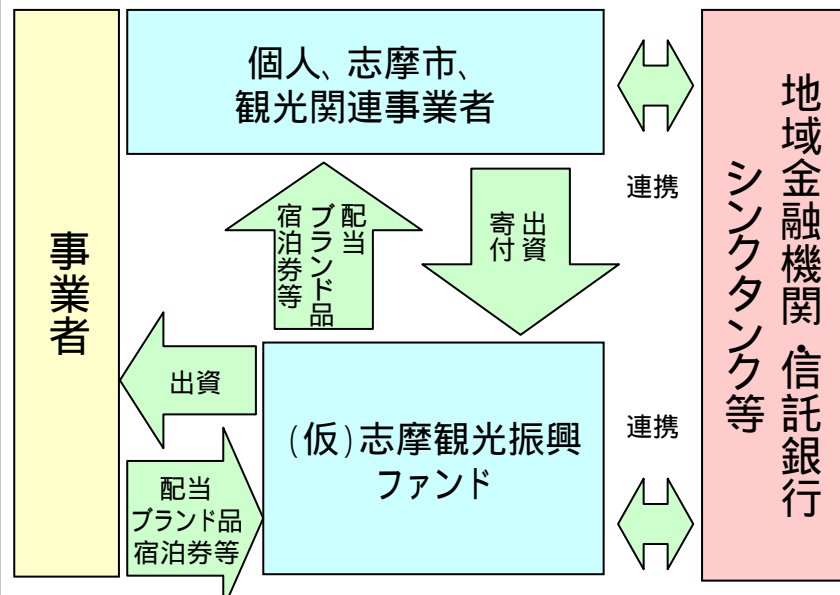
伊勢エビ

真珠

広域連携観光地づくり

- 志摩湾地域による「オンリー湾」サミットの開催
- 訪日外国人向け「個人仕様」観光地域づくり計画の策定

(仮)志摩観光振興ファンドのイメージ



長崎方式受け地主導型ツアー-実践ビジネスモデル構築

提案主体：(社)長崎県観光連盟 対象地：長崎県

「泊食分離」等仕組み・仕掛に工夫タイプ (交泊分離・受け地主導モデル)

魅力ある長期滞在メニューの不足
旅行間際の予約ができない
ツアーに顧客の意見が反映されない
満足度の低下



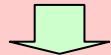
地域「イチ押し」ツアーの開発・商品造成
地域ガイドの量的質的充実
地域の自立(ランドオペレータ育成)

直前予約を可能とする観光コース一括手配窓口の創設等による 受け地主導型旅行商品の開発・提供

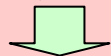
合計15～20コース程度を提案

予約等の流れ

「ながさきならでは」のコースを提案
(地域独自のガイド付き、交泊分離型)



長崎県観光連盟が一本化



インターネットで募集

(ネット予約会社：ラストミニッツ・ドット・コム)



自由な形で旅行組立て、予約

(旅行開始2～3日前直前予約、
2名からのガイド付ツアーの提供)

ツアーコンテンツの例



軍艦島



五島 堂崎教会



島原薬草園と島原薬膳料理

いちやれば感動プロジェクト

提案主体：NPO法人OSI(沖縄観光産業)研究会 対象地：沖縄県
コンテンツの充実等プログラムに工夫タイプ (コンテンツ充実モデル)

魅力あるプログラムコンテンツ不足
発地主導のパッケージツアーによる
顧客選択肢不足



滞在型観光コンテンツ開発、オーダーメイド
観光ツアーを提供する仕組みの開発
住むレベルでも充実した観光地づくり

ITを活用し県内の多様な組織との連携による、観光客オーダーメイド型
のプログラムを提供する新しい観光形態づくり
あらゆるニーズ対応する多様な100の長期滞在可能な体験型プログラム開発

体制構築・プログラム充実

ネットワーク
地域事業者の
県内広域ネットワーク構築

コンテンツ
100のプログラム開発
エコ・ツーリズム、文化交流、マリンスポーツ
サンゴの産卵鑑賞、三線教室 等
(地域資源の持続可能な保全と活用)

プログラムの例



やんばるの山を歩く



琉球舞踊を習う



海を歩く

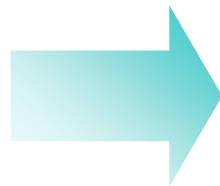


エイサーを踊る

テーマ型広域観光モデルルート開発&観光地づくり

提案主体:九州観光推進機構 対象地:九州全域
 人材育成・連携等ネットワークに工夫タイプ (広域連携モデル)

広域での誘客活動の不足
 顧客ニーズへの対応不足
 宿泊客数の減少



団塊の世代等シニア層をターゲットにした50の広域観光テーマルートを開発
 各地域でテーマ型観光地づくりを推進

県境を超えた地域横断的な50の広域観光テーマ・ルート開発を目指す

平成17年度は50ルート、3年間で150ルートを策定

九州観光推進機構

…九州7県、経済団体、旅行・交通事業者等官民一体となった推進組織として平成17年4月に設立
 (会長:田中浩二JR九州会長)

モデルルートイメージ

歴史的・文化的知的欲求の充足

関連書物書籍の紹介

エリアの温泉、食、酒等の情報提供

感動を与える物語の提供

観光ボランティアガイドとの連携

五感を満たす観光素材情報の提供

「五足の靴」(長崎～熊本)ルート例



富岡港



高砂屋



上田庄屋と資料館



大江天主堂



五足の靴遊歩道



江津湖の船遊び

函館移住コンシェルジュ事業

提案主体: はこだて生活産業創出研究会 対象地: 函館市・南北海道地域

革新的な観光地モデル形成等コンセプトに工夫タイプ (移住促進モデル)

函館来訪観光客の減少
(北海道全体の観光客減少)



団塊の世代等の移住希望者をターゲットに、生活体験型観光プログラムの構築、移住視察ツアーの実施、移住相談事業等移住に関するトータルサポートサービスを構築

函館移住コンシェルジュセンターの設立

平成19年には、宿泊観光者数350万人(平成14年比20万人増)、移住者100人を目標

コンシェルジュセンター(事業推進母体)



窓口業務

- 生活体験型観光プログラムの構築(郷土料理教室、いか釣り、ヨットなど滞在型メニューづくり)
- 移住視察ツアーの実施(生活オリエンテーション、宅地見学、医療施設見学等)
- 季節移住型観光(季節住民)の実施(過ごしやすい夏、冬レジャー等)
- 熟年から高齢者向け観光事業の開発(シニアカレッジ、介助旅行等)
- 移住相談への対応事業(心配事、生活関連、不動産、医療等の相談サポート)
- 地域の総合的な観光資源の質の向上の為の研修制度、コンサルティング事業(体験型宿泊プラン、観光施設のクオリティアップ等のコンサルティング)



情報収集

移住を切り口とした観光マーケットへの取組

生活体験型観光

•地域施設利用、シニアカレッジ参加 等



拠点(民宿等)



市場



函館みらい大学



ゴルフ



スキー



ヨット



拠点(住宅等)

季節移住型観光

•長期滞在体験型観光、ライセンス取得旅行 等